



リマスガ、御話ニ依リマシテ尙能ク事情ヲ  
調べマシテ、善處致スコトニシタイト思ヒ  
マス

○子爵稻垣長賢君 丁度好イ機會デゴザイ  
マスカラ、此ノ兩案ニ實ハ直接關係ナイコ  
トデアリマスガ、チヨント伺ビタイト思ヒマ  
ス、最近食糧ニ付テ閑ガ行ハレタリ、又買  
出シ部隊ガ出掛ケルト云フヤウナコトハ、  
一部分ニハ食糧ガ或部分ニマダヽ相當ア  
ルヤウニモ解サレルノデアリマス、是等ノ  
中ニハ輸送其ノ他ノ關係カラ致シマシテ、  
腐敗スルモノモアルト云フヤウナコトモ聞  
クノデアリマスルガ、若シ是ガ事實デアリ  
マスレバ誠ニ由タシイ問題デアルト考ヘル  
ノデアリマスガ、此ノ問題ニ付テ現在ドウ  
云フヤウナ處置ヲサレテ居ラレルカ、チヨッ  
ト伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(石黒武重君) 只今ノ御質問

ハ、問題ト致シマシテ相當廣イ意味合ノア  
リマス問題デゴザイマスガ、今ノ腐敗ノ一  
點ニ付テ先づ申上ダマスルト、今年アタリ  
ハ餘程改善致シタ存ズルノデアリマスガ、  
例ヘバ甘諸ノヤウナモノニ付テノ腐敗ノコ  
トヲ能ク聞クノデゴザイマス、大體例ヘバ  
此ノ甘諸ノ處理ト云フヤウナコトニ付テノ  
政府トシマシテノ考ヘ方ヲ申シマスルト、  
元來此ノ甘諸ト云フモノハ生ノ儘デ置キマ  
シテハ腐敗シ易イ、殊ニ此ノ溫度ノ非常ニ  
低イ冬期ノ嚴寒ノ候ニハ腐敗シ易イモノデ  
アリマス、ソコデ斯ウ云フヤウニ昨年カラ  
シマシテハ、何トシテモ嵩張モノデ輸送  
スルモノモアルトナラバ、其ノ後收穫シタ  
モノヲ如何ニ有效ニ使フト云フコトヲ色々  
シマシテハ、何トシテモ嵩張モノデ輸送

ガ大變デアル、而モ輸送ノ狀況ハ御承知ノ  
通リデアリマスノデ、是ハ或程度ハ矢張リ  
トデアリマスガ、チヨント伺ビタイト思ヒマ  
ス、最近食糧ニ付テ閑ガ行ハレタリ、又買  
出シ部隊ガ出掛ケルト云フヤウナコトハ、  
一部分ニハ食糧ガ或部分ニマダヽ相當ア  
ルヤウニモ解サレルノデアリマス、是等ノ  
中ニハ輸送其ノ他ノ關係カラ致シマシテ、  
腐敗スルモノモアルト云フヤウナコトモ聞  
クノデアリマスルガ、若シ是ガ事實デアリ  
マスレバ誠ニ由タシイ問題デアルト考ヘル  
ノデアリマスガ、此ノ問題ニ付テ現在ドウ  
云フヤウナ處置ヲサレテ居ラレルカ、チヨッ  
ト伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(石黒武重君) 只今ノ御質問  
ハ、問題ト致シマシテ相當廣イ意味合ノア  
リマス問題デゴザイマスガ、今ノ腐敗ノ一  
點ニ付テ先づ申上ダマスルト、今年アタリ  
ハ餘程改善致シタ存ズルノデアリマスガ、  
例ヘバ甘諸ノヤウナモノニ付テノ腐敗ノコ  
トヲ能ク聞クノデゴザイマス、大體例ヘバ  
此ノ甘諸ノ處理ト云フヤウナコトニ付テノ  
政府トシマシテノ考ヘ方ヲ申シマスルト、  
元來此ノ甘諸ト云フモノハ生ノ儘デ置キマ  
シテハ腐敗シ易イ、殊ニ此ノ溫度ノ非常ニ  
低イ冬期ノ嚴寒ノ候ニハ腐敗シ易イモノデ  
アリマス、ソコデ斯ウ云フヤウニ昨年カラ  
シマシテハ、何トシテモ嵩張モノデ輸送  
スルモノモアルトナラバ、其ノ後收穫シタ  
モノヲ如何ニ有效ニ使フト云フコトヲ色々  
シマシテハ、何トシテモ嵩張モノデ輸送

生産サレタ地元デ以テ消費シテ貰フ、寧ロ  
之ヲ消費シテ、米デアルトカ其ノ他ノ嵩張  
ラズ而モ腐敗ノ虞ノナイ穀類ノヤウナモノ  
ヲ農村カラ成ルベク供出シテ貰フト云フヤ  
ウナ風ニ致シマス爲ニ、御承知ノヤウニ芋  
ヲ付テ勿論供出ハ求メマスガ、其ノ供出  
ノ求メル分量ヲ全國ニ亘ツテ見マスルト、全  
體ノ生産豫想量四割程度ニ止メル、六割位ハ  
ソレヽ地元ノ農家、農村自體デ消費ヲシ  
テ貰フト云フヤウナ方法ヲ執リマスヤウナ  
譯デアリマス、ソレカラ供出ヲ求メルモノ  
ニ付キマシテモ、之ヲ全部生デ以テ集メル  
ト云フコトハ、今申シマシタヤウナ譯デ、  
色々ト輸送ノ上カラモ、或ハ腐敗ノ上カラ  
モ不便デゴザイマスノデ、相當程度ノモノ  
ハ農家自體デ切干甘諸ニシテ、サウシテ供  
出ヲ求メルト云フコトノ爲ニ、特ニ此ノ切  
干ニスル爲ニ勞力其ノ他ノ費用ニ付テ十分  
之ヲ見マシテ、特ニ價格ノ上ニモ考慮ヲ加  
ヘマシテ、サウ云フヤウナコトヲ獎勵ヲ致  
シテ居リマス、又同時ニ冬分ノ最モ腐敗ノ  
虞アルト云フ場合ニハ、寧ロドチラカト云フ  
トサウ無暗ニ芋ヲ出シテ來ナ伊方ガ良イダ  
ラウ、其ノ間ニ取扱ヒマスト、自然腐敗シ  
易イト云フコトデ、ソコデ生産スル農家ニ  
ハ適當ナ貯藏ノ方法、地面ノ中ニ穴ヲ掘リ  
マス、其ノ穴ノ掘リ方モ色々アルノデアリ  
マスガ、サウ云フヤウナ方法モ盡クシテ、  
全國ニ亘ツテ練習ヲ致シマシテ、適當ナ方法  
デ以テ貯藏ヲサセル、價格ノ面ニ於キマシテ  
モ、特ニ此ノ腐敗ノシ易イ二月ノ交ハ寧  
ロ値段ヲ抑制シマシテ、三月ニナリマスレ  
バ、是ハ溫度ノ關係デ腐敗ガ比較的シニク  
譯デ腐敗ノ問題、殊ニ芋ニ付テアルノデア

クナリマスノデ、出スノガ遲レタラ、一層ノ  
コトニサウ云フ時期ニ、三月ニ出スト云フ  
ト云フヤウナ色々ノ方法ヲ執リマシテ致シ  
テ居ルヤウナ譯デゴザイマス、處デ現實ノ  
問題トシマシテハ、左様ナ譯デ、餘程腐敗  
ト云フコトニ付キマシテハ事實割合ニ今年  
ハナカツタノデハナイカ、以前ニ致シマシテ  
モ、サウナカツタノデハナイカト云フ説ガア  
リマスケレドモ、少クトモ以前カラ較ベマ  
スレバ、ナクナカツタ思ヒマスガ、唯輸送ノ  
途中ニ於キマシテア、云フ重イモノデアリ  
マスカラ、又取扱上壓迫ヲ加ヘタリ擦レタ  
リスルヤウナ所ガ品傷ミモスルコトハ、是  
ハ免レナイトグト思ヒマス、サウ云フヤ  
ウナモノガツイ家庭配給ニナルト云フヤウ  
ナコトデ、ソレヽ其ノ分量ヲ家庭ヘ割當  
テラレテ受取リマシテモ、受取テ見タ所  
ガ品傷ミヲシテ居ルト云フヤウナコトデア  
リマシテハ、是ハ消費者トシテモ迷惑デア  
リマスノデ、サウ云フモノヲ受取ッタ場合  
ニハ、若シサウ云フ腐敗タトカ、或ハ品  
傷ミデ使ヒモノニナラスト云フヤウナモノ  
ニ付テハ、殊ニ大都市デアリマスガ、サウ  
云フモノニ付テハ遠慮ナク取換ヲ求メテ  
貰フ、其ノ場合ニハ別ナモノト取換ヲス  
ルト云フヤウナ風ニ致シマシテ、一面ニ於  
キマシテハ消費者ニハ成ルベク迷惑ヲ掛ケ  
シマシテ、サウ云フモノヲ持込マニヤウ  
云フモノヲ家庭ニ持込シダ場合ニハ結局取  
換ヘナケレバナラスト云フヤウナコトニ致  
シマシテ、サウ云フモノヲ持込マニヤウ  
ニ氣ヲ付ケサセルト云フヤウナコトヲ色々  
シマシテ居ルヤウナ譯デゴザイマス、左様ナ  
モ出荷地處メヲスル、非常ニ不深切ダト云



テ食ハセマスト、非常ニ喜ンデ食ヒマス、斯ウ云フヤウナ状態デアリマシテ蛹ノ利用アリマス、ソコデ最近軍トノ關係ヲ見マスト、製絲工場ナドガ大分軍ノ工場ニ接收セラレテ居ルヤウデアリマスシ、先ツ今後モ相當接收サレルノデハナイカト考ヘルノデアリマスガ、少クトモ蛹ノ利用ニ依ッテ「ビターミン・ビー」ト云フヤウナ軍需、民需ニ最モ必要ナモノヲ製造スル工場、サウ云フモノニ對シテハ軍ガ接收スル場合ニ於テモ相當此ノ點ヲ考慮ニ入レテ、大分同情ノアル御處置ニ出テ戴キタイ斯ウ考ヘテ居リマス、農商省ノ御當局ト致シマシテモ、此ノ點ニ付テドウ云フ御考ヲ持ツテ居リマスカ、出來得レバ陸海軍御當局ニ對シ機會ノアリマシタ場合ニ於テ、此ノ點ニ觸レマシテ相當御考慮ヲ願フヤウニ御協力ヲ願ヒタイ、斯ウ者ヘルノデアリマス

マス、假ニ製絲工場ノ數ガ多少減リマシテモ、其ノ工場自體ニハ數ガ減ッタカラ云トツデ、其ノ爲ニ產ヲ減少サセルト云フヤウナコトハ今申シマシタヤウナ譯デ、此ノ生産ヲ確保セネバナラヌヤウナコトデアリマスカラ致シマセスト云フヤウナ譯デアリマシテ、自然蠅ノ生産ノ分量ノ方ニハ、工場ノ轉換ニ依シテハ影響サセナイ積リデ居リマス、唯此ノ工場ノ配置ト云フモノガ矢張リ其ノ地方々々ノ養蠅ノ興ルカ衰退スルカト云フコトニモ相當響キガアル譯デアリマス、ソコデ同ジ轉換ニシマシテモ、成ルベク養蠅トノ關聯ヲ考ヘテ、サウ云フヤウナコトノナイヤウニ努メテヤツテ參ルト云フコトニ出來ルダケ努力ヲ拂ツテ居リマス、唯今日ノ急ヲ要スル軍ノ方ノ必要ト云フヤウナコトノ爲ニ、多少ソレガ曲ゲラレル場合モ或程度アルノデアリマスガ、努メテサウ云フヤウナコトノナイヤウニシマシテ、サウシテ必要ナ產繩ノ確保ニハ努力シテ参リタイト思ヒマス

是ハ變へナケレバナラヌモノハ變ヘテ宜シ  
イト思ヒマスガ、併シ變ッタナラバ其ノ後  
ニ於テ將來起ルベキコトニ對スル要點ノ所  
ニハ手ヲ打テ置カナケレバナラヌト思フソ  
レ等ニ關シマシテ一ツ十分ノ御研究アル  
コトト存ジマスガ、時機ヲ失シナイヤウニ  
適當ナ手ヲ御打チニナラムコトヲ御願ヒシ  
テ置キタイト思ヒマス、私ノ發言ハ或ハ速  
記カラ除イタラ宜ト云フ御考ガアリマシ  
タラ、當局ノ方カレ適當ニ御除キヲ願ヒマ  
ス

○政府委員(石黒武重君) 此ノ問題ニ付キ  
マシテハ餘り確實ナコトヲ申上ガル何モゴザ  
ザイマセヌケレドモ、事柄ノ性質上速記ヲ  
止メテ戴キタイト思ヒマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) 速記中止

〔速記中止〕

○委員長(伯爵堀田正恒君) 速記ヲ始メテ、  
他ニ御質問ゴザイマセヌカ、御質問ナイヤ  
ウデゴザイマスカラシテ、是デ質問ハ終了了  
致シタモノト認マス、續イテ討論ニ入り  
タイト思ヒマス、御意見ガアリマシタラド  
ウゾ

○今井五介君 私ハ絲價安定施設法ノ廢止  
ニ付テハ結局贊成ノ意ヲ表スルモノデアリ  
マスガ、蠶絲業統制法中改正法律案ニ付テ  
モ亦賛成ヲ表スルモノデアリマス、唯討論  
デナクテ、私ハ自分ノ茲ニ私見ヲ述べテ政  
府ノ善處方ヲ要望シタイト思ヒマスガ、御  
許シヲ戴ケマスカ

○委員長(伯爵堀田正恒君) 宜シウゴザイ  
マス

幸ニ此ノ目的ヲ達成シテ、同法ヨリモモット  
進歩シ、且強力デアル蠶絲業統制法ニ其ノ  
席ヲ讓ルコトニ至リマシタコトハ、蠶絲業  
ノ爲ニ、又國家ノ爲ニ慶賀ニ堪ヘナイト思  
フノデアリマス、併シナガラ蠶絲業ノ統制  
ガ出來タ以上ハ、絲價安定施設法ノ精神及  
機構ハ全然無用ニナツテシマッタカト云フト、  
決シテサウデハナイノデアリマス、殊ニ絲  
價安定施設法ト併立スル所ノ絲價安定施設  
特別會計法ハ、蠶絲業統制法ニ依ル蠶絲價  
格安定機構トシテモ、現ニ有力且缺クベカ  
ラザル所ノ機構トナツテ居ルノデアリマシテ、  
之ヲ今日廢止致シマスルト、現在ノ蠶絲價格  
安定機構ノ一つノ支柱ヲ失フコトニナ  
リマスノデ、政府ハ此ノ點ニ付テ、今  
後ノ蠶絲業統制法運用上十分御注意セラ  
レ、蠶絲價格ノ安定竝ニ之ガ安定資金ノ  
造成等ニ付テ一層萬全ヲ期セラタイト希  
フモノデアリマス、其ノ理由ニ付テ此ノ機  
構ニ於テ簡單ニ申述ベタイト思ヒマス、現  
在ノ蠶絲價格ノ安定機構ハ大體三段構ヘト  
ナツテ居リマス、第一段ハ主務大臣ニ依ル蠶  
絲標準價格ノ公定デアリマス、第二段ハ日  
本蠶絲統制會社ニ依ル買入及賣渡ト同會社  
ノ繩絲價格安定資金デアリマス、而シテ第  
三段ハ政府ノ特別會計即チ今將ニ廢止セラ  
レヤウトシテ居ル所ノ絲價安定施設法ノ特  
別會計デアリマス、此ノ絲價安定施設特別  
會計ハ昭和十六年迄七千萬圓デアリマシタ  
ガ、同年ニ蠶絲業統制法ノ制定ト共ニ二億  
五千萬圓ニ増額セラレタノデアリマス、斯  
ト云フモノハ、蠶絲ノ輸出ハ明治以來最モ

絲ハ我ガ國農村經濟ニ缺クベカラザル産業トナシテ居ツタ、處ガ此ノ繭生絲ノ價格ガ外國經濟ノ變動其ノ他ノ關係カラシテ毎年著シイ變動ヲ繰返シマシテ、ソレガ爲ニ國民經濟上至大ノ惡影響ヲ及ボス一方、又外貨獲得ノ上ニモ重大ナ影響ガアツタノデアリマス、ソコデ此ノ蠶絲價格安定ノ爲ニハ明治以來深キ注意ガ拂ハレテ、大正年代ニ法モ御制定ニナリ、更ニ其ノ後研究ニ研究ハ帝蠶會社ト云フヤウナ救濟機關モ設ケラレ、昭和年代ニ入ツテハ絲價安定融資補償法モ御制定ニナリ、更ニ其ノ後研究ニ研究ヲ重ネテ出來上ツタノガ此ノ絲價安定施設法デアツタノデアリマス、此ノ絲價安定施設法ノ建前ハ、制高價格ト制低價格トヲ決定シ、政府ハ其ノ特別會計七千萬圓ヲ以テノ範圍内ニ絲價ヲ所謂自動的ニ安定セシメル所ノ仕組デアリマス、現ニ此ノ法律ノ下ニ於テソレヲ賣渡シ、以テ此ノ二ツノ價格制低價格ニ於テハ生絲ヲ買入レ、制高價格ニ於テソレヲ賣渡シ、以テ此ノ二ツノ價格定シ、政府ハ先ツ昭和十二生絲年度ニ於テ生絲九千九百二十俵ノ補充買入ヲ爲シ、十四生絲年度ノ絲價暴騰期ニ於テハ、此ノ九千九百二十俵ノ外ニ、從前カラ政府ガ所有シテ居タ所ノ昭和四年度生產生絲ノ内、二萬三千八百俵ヲモ市中ニ向ツテ賣渡シヲ爲シ、以テ價格ノ異常ナル騰貴ヲ抑制スルコトニ寄與スルト共ニ、政府ノ特別會計モ相當ノ利益ヲ擧ゲタノデアリマス、現ニ今回此ノ特別會計カラ一般會計ヘ繰入レラレル豫定ニナシテ居ル二千八百萬圓ハ、主トシテ右ノ利益カラ成立シタモノト思ハレマス、更ニ昭和十五年度ニ於キマシテハ國際不安全地消費ノ抑制カラ絲價ガ低落シタ爲ニ、ト内地消費ノ抑制カラ絲價ガ低落シタ爲ニ、政府ハ五萬七千俵ノ買入ヲ行フ外、帝蠶會

社ヲシテ六萬八千六百俵ノ買入ヲ行ハシメ、以テ絲價ヲ三千三百五十圓ニ於テ維持スルコトニ成功シタノデアリマス、斯クノ如ク政府ノ操作ニ依ツテ絲價ノ安定ヲ圖リ、延べタ絲價安定施設特別會計ノ七千萬圓ニアリマス、此ノ資力ガ若シナカリセバ如何ニ法律デ標準賣渡價格ダノ、標準買入價格ダノヲ設ケタ所デ、政府モ操作ノ仕様ガアリマセヌノデ、ソコデ此ノ資力ヲモット増大シナケレバナラスト云フノデ、蠶絲業統制法ノ制定ニ際シテ二億五千萬圓ニ増額シタノデアリマス、現在ノ蠶絲業統制法ニ依ル價格安定機構デハ、曩ニ申シタ如ク、第一ニ主務大臣ノ蠶絲價格ノ公定ガアリ、第二ニハ日本蠶絲統制株式會社ノ買入及賣渡ガアルリマス、ソコデ一應價格安定ガ萬全デアアルヤウニハ考ヘラレマスルノデスガ、成ル程主務大臣ニ依ル價格ノ公定ハ、以前絲價安定施設法ダケノ場合ノ制低價格及制高價格トハ其ノ趣ヲ異ニシテ居ルノデアリマシテ、今日ノモノハ大臣ガ告示サレタ標準價格ヲ基礎トシテ現實ニ蠶絲統制株式會社ガ、單ニ生絲バカリデハナク、蠶種モ蘭モ生絲モ短纖維モ、有ラユル蠶絲類一切ヲ現實ニ買入レルノデアリマス、又ソレヲ賣渡スノデアリマス、從ツテ蠶絲價格ハ公定價格ヨリ一厘モ安カラズ、又一厘モ高カラズ、全ク公定價格ノ一本ニ安定シテ居ル譯デアリマス、併シナガラ蠶絲價格ガ此ノヤウニ完全ニ安定シテ居ル譯ハ、唯單ニ農商大臣ガ標準價格ヲ決定サレ、ソレヲ告示シタダケニ據ルノデハナイト信ズルノデアリマス、即チ其ノ價格ニ基イテ蠶絲統制會社ガ現實

ニ蠶絲一切ノ買入及賣渡ヲ行フカラダト田畠モ其ノ賣買ノ機能ダケデ價格安定ノ職業ヲ全ウスルコトハ出來ナイノデアリマス、何故カト云フト、時ニ或ハ需要ヨリモ多イモノヲ買入レナケレバナラナイカモ知レタヌ、又反對ニ需要ガ旺盛デ當年ニ買入レタモノノ以上ノ數量ヲ賣ラナケレバナラム必要ガ生ズルカモ知レマセヌ、即チ需給ノ調整ヲ行フ必要ハ屢々起ルノデアリマス、是ハ今日輸出ガ杜絶致シマシテ所謂内需轉換ヲナシ、全ク内地ダケデ經濟ヲ取ツテ民衆現在ニ於キマシテモ、斯ウシタ需給ノ調整ハ常に必要ナノデアリマス、サウ致シマスト、統制會社ハ先づ相當ノ資金ノ餘裕ヲ取ツテ民衆ニ居ル必要ガアリマス、次ニ又相當數量ノ蠶絲ヲ手持シテ居ル必要ガアリマス、レデナケレバ統制會社ハ法律ノ規定スル如ニ安全ニ果スコトハ全ク出來ナインデマヌリマス、幸ヒニ政府ハ此ノ點ヲ御認メニヤリ、蠶絲統制會社ニ對シテハ資本金ノ半分四千萬圓ヲ御出資ニ相成ルト共ニ、又蠶絲業統制法第四十二條ニハ、繭又生絲ノ價格ニ安定ヲ圖ル爲、繭絲價格安定資金ヲ設定ニルコトヲ規定サレテ、蠶絲統制會社ハ此ノ規定ニ基イテ今日一億餘圓ノ資金ヲ設定シテ居ルノデアリマス、詰リ此ノ價格安定資金ヘ、先ニ申述ベタヤウナ蠶絲ノ需給ノ調整ヲ圖ル必要ガ起ツタ場合ニ、何時デモ相當數量ノ蠶絲ヲ手持シテ價格ノ安定ヲ圖ル爲ニ資力トナル、サウ云フ用意ガアレバコソ、現ニ蠶絲價格ガ全ク安定シテ居ルノデアリシテ、若シサウデナカッタナラバ、供給方ノ要ヲ超過シタ場合ニハ、何トモ致シ方ノイコトガ起ルト思ハレルノデアリマス、

十分カト申シマスト、決シテ十分トハ言ヘ  
ナイノデアリマス、統制會社ノ資金ハ、先  
程申上ゲタ如ク、第二段ノ構ニ過ギナイ  
ノデアリマス、其ノ金額モ假リニ一億圓ガ  
其ノ儘使ヘルト致シマシテモ、現在ノ買入  
價格八百五十八圓デハ生絲約七萬三千俵ヲ  
買ヒ得ルニ過ギマセヌ、而モ此ノ安定資金  
モ、本年度ニ於テハ繭ヲ養蠶家カラ七十五掛  
デ買ヒ入レ、製絲家ニ七十掛デ賣ル爲ニ、  
掛ダケ統制會社ガ損ヲ負擔シナケレバナラ  
ナイノデアリマス、或ハ又指定生產織物ノ  
原料生絲ヲ特ニ安イ値段デ供給スル爲ニ、  
十貫ニ付百圓ダケ統制會社ガ拂戻シテヤル  
等ノ、所謂低物價政策ノ趣旨ニ副フ政策ヲ實  
行シテ居リマスルガ爲ニ、此ノ繭絲價安定  
資金カラ、年額約四千萬圓バカリヨ支出し  
ル豫定トナツテ居リマス、現ニ之ガ爲ニ昨  
年五月末ニハ、約一億二千萬圓近クニ上ツテ  
居ツタ安定資金ガ、今日デハ既ニ一億圓ヲ  
割ヅテ居ル現狀デアリマス、斯クノ如クナリ  
マスルト、將來蠶絲ノ需給調整ノ爲ニ、會  
社ガ擔當數量ノ繭生絲ノ手持ヲ致サケレ  
バナラヌ場合ガ起リマシテモ、其ノ必要ナル  
手持ガ出來ナクナリ、延イテハ法律ノ規定  
スル所ノ蠶絲ノ需給調整ト、價格ノ安定ヲ  
圖ルコトガ困難ニナル虞ガ起ルノデアリマ  
ス、世上動トモスルト、今日ハ最早絲價安  
定ノ施設等ハ不必要ダ、價格ノ公定サヘス  
スル者ガアリマス、併シ是ハ唯現在ノ表面  
ダケヲ見タ所ノ議論ニ過ギナイト思ヒマス、  
現在ノ表面ノ安定ハ、先程申述ベマシタ通  
リ、蠶絲統制會社ガ公定價格ヲ間違ヒナク

蠶絲ノ買入及賣渡ヲ行フ結果ニ外ナラナイ  
ノデアリマス、又其ノ資金ガ足リナイ場合  
ニハ繭絲價格安定資金カラ支出しシ得ル體制ニ  
ナッテ居ル結果ニ外ナラスト存ズルノデアリマ  
ス、ソコデ何人モ之ニ信賴シテ、其ノ結果  
トシテ蠶絲價格ガ安定シテ居ルノデアリマ  
ス、然ルニ此ノ安定資金ハ私共カラ見ルト  
現在マダ十分トヘ言ヘマセヌ、一億圓足ラ  
ズニ過ギナイ、ソレモ益減少シテ行ク有様  
デアリマス、ソコデ私見ヲ率直ニ申上ゲマ  
スルナラバ、政府ガ是迄御設ケニナッテ居ラ  
ク、統制會社ノ資力ダケデハ足リナカッタ場  
ヲモ引續キ存置シテ戴キタイノデアリマス、  
是迄ノ價格安定機構デハ曩ニ申上ゲタ如  
レタ絲價安定施設特別會計ノ一億五千萬圓  
ヲモ引續キ存置シテ戴キタイノデアリマス、  
合ニハ、政府ノ此ノ特別會計ガ前面へ出テ來  
テ、二億五千萬圓ノ威力ヲ示スト云フ建前  
ニナツテ居タ、即チ第三段ノ構ヘニ是ガナッ  
テ居タノガ實際ノ實情デアッタノデア  
リマス、今日政府ノ御説明ヲ伺ヒマス  
ルト云フト此ノ蔭ニ隠レテ居タ絲價安定施  
設法ヲ廢止サレルノモ全ク已ムヲ得ナイコ  
トデアルコトヲ伺ッテ居リマシテ、此ノ廢  
止ニハ贊成ハ致シマスルガ、併シナガラ私  
ハ此ノ法律ガ最早無用ニナツタカラ其ノ廢  
止ニ賛成ヲスルト云フ趣旨デハ毛頭アリマ  
セヌ、決シテ無用ニナツテ居ルノデハナライ  
ノデアリマス、唯蔭ニ隠レテ居ルニ外ナリ  
マセヌ、此ノ蔭ニ隠レテ居ルモノヲ今回  
廢止致シマスト、蠶絲業ノ安定ニハ唯蠶絲  
業統制法ダケガ之ニ當ルト云フコトニナリ  
マス、然ラバ是迄二本建デアッタモノノ中  
ノ一本ガ無クナルト云フ結果ニナルノデア

ルカラ、政府ト致シマシテハ恐ラク殘タ  
一本ノ柱デアル蠶絲業統制法ヲ今日ヨリモ  
一層強化サレル御積リデアラウト想像致シ  
マスシ、又サウアラネバナラヌト確信スル  
者デアリマス、今茲ニ提出サレテ居ル同法  
第十三條乃至第十五條ノ削除ダケデハ到底  
物ニナラヌト存ズル次第デアリマス、茲ニ  
於テ私ハ政府御當局ニ一ツノ希望ヲ申上ゲ  
タイト思フノデアリマス、其ノ希望ノ要點  
ハ今日生絲ノ輸出ヘナクナッテ居ル時デモ、  
蠶絲價格ノ安定及需給ノ調整ト云フコトヲ  
決シテ輕視サレナイヤウニ御願ヒシタイト  
云フコトデアリマス、本案ノ御説明ヲ蔭ナ  
ガラ伺ヒマシテ、絲價安定施設法廢止ノ理  
由ハ、「蠶絲業統制ノ進展強化ニ伴ヒ、絲價  
安定施設法ニ依リ、政府ノ行ヒ來レル生絲  
ノ需給調整及價格失ヒタルヲ以テ」云々トアリマスルガ、假  
リニ政府ノ行フ所ノ生絲ノ需給調整及價格  
安定方策ハ、其ノ必要性ヲ失ヒタト云フ意  
シテモ、ソレハ其ノ必要ガ此ノ世ノ中カラ  
消エテナクナッタノデハナクシテ、唯政府ガ  
直接行フコトノ必要ガナクナッタト云フ意  
味ニ過ギナイト私ハ信ズルノデアリマス、  
政府御當局モ恐ラクハサウ云フ御趣旨デア  
ラウト信ズルノデアリマス、果シテサウト  
致シマスレバ、政府ガ自ラ行ハナクナッタ  
代リニモ、政府ニ代ツテ何等カノ機關ガコレ  
ヲ行ハナケレバナラヌバカリデナク、其ノ  
機關ノ實行力ハ、以前ニモ増シテ之ヲ強化  
スル必要ガ一層增大シタト言ヘネバナラヌ  
ノデアリマス、サウシテ此ノ政府ニ代ツテ行  
フ所ノ機關トシテハ、蠶絲業統制法ニ依ツテ  
恐ラクヘ日本蠶絲統制會社ガ之ニ嘗ルコトニ  
ナツテ居ルノデハナカラウカト思フノデア

リマスカラ、具體的ニ申シマスルト云フト、此ノ會社ノ需給調整及價格安定施設ト云フモモノヲ今後一層強化擴充スルノ必要ガ茲ベキデアルカト申シマスルト、無論色々ノ方法ガアルト思フノデアリマス、ソレヲ一詳細ニ述ベルト時間ガアリマセヌカラ、他日機會ガアッタ場合ニ申述ベルコト致シマシテ、私ハ唯茲ニ次ノ一事ダケヲ申トゲテ、政府ノ御注意ヲ御願ヒシグイト思フノデアリマス、ソレハ統制會社ガ現在積立テテ持ツテ居ル繩絲價格安定資金ヲ濫リ消費シテシマハスヤウニ御指導ヲ願ヒタイ、成ベクハ之ヲモット增强スルヤウナ政策ヲ御採リヲ願ヒタイコトデアリマス、此ノ資金ノ重要性ハ先程カラ段々申述ベタコトデ盡キテ居ルト思ヒマスガ、絲價安定施設特別會計ヲ廢止スルコトニナルト、一層要ナモノトナツテ來タノデアリマス、今日世上ヲ窺ヒマスルト、此ノ資金ノ存在ヲ無用視シタリ、又ハ斯ウ云フ資金ヲ積立テル爲ニ、統制會社ハ特ニ安ク生絲ヲ買ッテ之ヲ高ク賣ツテ居ルヤウニ誤解シテ居ル者ガアリマスガ、是ハ全然事實ノ眞相ヲ知ラニシテ政府自ラ御決定ニナツカ所ノ價格デアリマス、一方又賣渡スルノデアリマス、從ツテソコニハ何等強ヒテ安ク買入レルト云フ意思モ事實モナイコト生産費調査ニ基イテ、其ノ生產費ヲ基準ハ明白デアリ確實デアリマス、一方又賣渡スルノデアリマス、從ツテソコニハ何等強ヒテ安ク買入レルト云フ意思モ事實モナイコト参考シテ、是亦主務大臣ガ蠶絲委員會ニ

諸問シテ御決定ニナルノデアリマシテ、特ニ之ヲ高ク決定サレルト云フヤウナ道理ハ、  
ナエ筈デアリマス、蠶絲業統制法實施ノ際、  
ノ實情ヲ申上ゲマスト、其ノ賣渡價格ハ輸  
出市場ノ時價ヲ基準トシテ決定サレタヤウ  
デアリマスガ、是ハ全ク至當ナル決定方法  
デアリマシテ、若シモナラ時價ヨリモ安イ價格  
デ決定シマスド、生絲全體ノ價格ニ影響シ  
テ、海外カラ獲得スル外貨ガソレダケ減少  
スル結果ヲ招來シタノデアリマス、ダカラ  
シテ此ノ時價ヲ以テ賣渡價格ト致シタコト  
ハ、結局外國人ニ奪ハレタモノヲ我國自  
ラソレヲ獲得スルコトニナリ、而シテソレ  
ヲ蠶絲統制會社ガ御預りヲシテ置クト云フ  
結果ニナツタノデアリマス、今日輸出ハナ  
クナツテ、内地ダケデ消費スルコトニナツタ  
カラ、外國ニ利益ヲ奪ハレル心配ハナクナ  
リマシタケレドモ、既ニ賣渡價格ガ内地絲  
價ノ基準トナリ、其ノ基準ノ上ニ織物價格  
ガ公定セラレ、國內物價機構ノ一環トナツテ  
居リマス、加フルニ生絲ノ價格ニハ闇ハ一  
切アリマセヌ、他ノ物價ニ比較シテ寧ロ廉  
價デアルト言フモ過言デナイト信ジマス、  
更ニ又此ノ賣渡價格ト買入價格トノ差額カ  
ラ統制會社ハ織絲價格安定資金ヲ積立テナ  
居リマスガ、此ノ安定資金ハ、先程申上ゲ  
マシタ通り、蠶絲業全體ノ安定發達ノ爲ニ使  
ハレルノデアリマスカラ、他ノ所謂中間機  
關ノ中間利潤トハ其ノ性質ヲ全然異ニシテ  
居ル公共性ノモノデアリマス、生絲ノ價格  
ノ單位ハ十貫匁ト云フヤウナ大キナ數量デ  
アリマスカラ、賣渡價格ト買入價格トノ差  
額ガ現在百四十二圓ト云フヤウナ比較的大  
キイ數字ニナツテ居リマスガ、世間ノ何モ御  
知リニナラヌ人々ハ此ノ數字ダケヲ聞イテ、

是ハ會社方取り過ギルト云フヤウナ感ジヲ持タレルカモ知レマセヌガ、之ヲ若シ百匁単位ニ直シマスルト、僅カニ一圓四十二錢ニ過ギナインデアリマス、而シテ生絲百匁アリマスルト、相當ノ絹織物ガ大體一反作レルノデアリマス、銘仙ノ如キハ百匁ヲ要シナインデアリマス、織物ノ場合ニシテ一反當リ一圓四十二錢位ノロ錢ト云フヤウチモノハ、從來ノ商業組織デハ、實ニ極メテ薄イ口錢ニ過ギナイト思ヒマス、織物モ今日デハ統制組織ニナツカラ、以前ノヤウチ利潤ハ食ラナイコト存ジマスルガ、併シ現在ノ織物公定價格カラ伺ヒマスト、卸賣業販賣價格デモ、小賣業者販賣價格デモ、尙相當ノ差益が見積ラレテ居ルモノト伺ヘマス、決シテ繭絲ノヤウニ、生産者モ統制會社モ原價カスノノ價格デ生存シテ居ルモノトハ譯ガ達フノデアルト存ジマス、而モ繭絲ノ場合ニハ、生絲コソ百匁當リ一圓四十二錢ノ賣買差額ヲ取りマスガ、目下軍需用トシテ缺クベカラザル原料トナツテ居リマス繭短纖維ニ付キマシテハ、繰繭式ノモノデ十貫當リ三十圓、開繭式ノモノデ同ジク十貫當リ二十五圓、即チ百匁ニ致シマスト僅カニ三十錢若シクハ二十五錢ニ過ギモノデニアリマス、是デハ會社トシテ實際ノ取扱手數料ヲ償フニモ足リマセヌ、何ガシカノ持出ヲシテ居ルヤウナ實情デアリマス、更ニ又繭ノ如キハドウカト申シマスト、是ハ賣渡價格ノ方ガ買入價格ヨリモ五掛ダケ安ク決メラレテ居リマスカラ、大體生絲一貫當リ七十錢バカリ統制會社ハ持出ノ勘定ニナツテ居リマス、此ノ生繭一貫カラ生絲カ約百四十匁取レマスルカラ、結局生絲百四十匁カラ手數料一圓九十八錢オ預リシテ、

織維ノ方へ七十錢バカリ御返シスルカラシニ織  
ノ中デモ、指定生産織物ニ使フモニ對シテハ十  
錢以上ニ出ルトモ、ソレヲ下ルコトハナイ  
ト存ジマス、然ラバ統制會社ニ利益トシテ  
残ル所ハ殆ド絶無デアルバカリデナク、生  
絲ノ生産計畫ハ年々減少シ、短纖維ノ計畫  
ハ年々増加スルノデアリマスカラ、會社ハ  
結局損ヲスルコトナリ、折角積立テアリ  
絲價格安定、資金ヲ崩シテ居ル有様デアリ  
マス、繩ニ對スル五掛ノ補償及指定生産織  
物ニ對スル生絲十貫専當リ百圓宛ノ補償、  
更ニ又繩短纖維ノ價格ヲ現状ニ据エ置イテ  
行ク限り、繩絲價格安定資金ハ、年々ト言  
ハズ、月々喰ヒ潰サレテ行クテ恐ラクハ今  
後二三箇年位デ元ノ木阿彌ノ丸裸ニナッテ  
シマフコトヲ想像致シテ居ルノデアリマス、  
是モ亦國策デアルト仰セラレルナラバ、私  
ハ何ヲカ言ハシヤデアリマス、繩絲價格安  
定資金ハ、蠶絲統制會社ノ私有物デハ決シ  
テナイノデアリマシテ、國家公共ノ資金、  
蠶絲業ノ効キニ依ツテ積立テタル所ノ資金  
デアルノデアリマスカラ、國家ノ爲、蠶絲  
業ノ爲ニ使用スルノデアレバ、ソレガ皆無  
ニ歸シタ所デ毫モ惜シム理由ハナイノデア  
リマス、併シナガラ現在ノヤウニ生絲ダケ  
ニ蠶絲業全體ガ凭れ掛ツテ居ルト云ッタヤウ  
ナ蠶絲價格ノ決メ方ニ付テハ、一考ヲ要ス  
ルノデハナイカト私ハ思フノデアリマス、  
即チ生絲ダケニ比較的ニ餘裕ノアル賣買差  
額ヲ與ヘテ置イテ、繩ヤ短纖維ナドニ付テ  
ハ、逆ニ買値ノ方ガ賣値ヨリモ高イト云フ  
ヤウナコトヤ、又多少ノ差額ヲ與ヘテモ、

ソレハ經費ヲ償フニ足リナイト云フヤウチ  
建テ方ハ、決シテ健全ナル價格形成方法デ  
ハナイト信ズルノデアリマス、以前產繭ノ  
全部ガ生絲ニナリ、生絲ガ蠶絲業ノ最終ノ  
生産物デ、其ノ盛衰消長ヲ支配シテ居タ當  
時ニ於キマシテハ、蠶絲業全體ガ生絲ニ凭  
レ掛カルヤウナ價格體制ヲ採リマシテモサ  
ウ無理ハナイカト考ヘラレマス、併シ現在  
デハ、生絲ノ外ニ短纖維ガ出來、絹毛生絲  
ガ出來、サウシテ短纖維ノ方ガ生絲ヨリモ  
重點的ナ存在ニナッテ來ルト云フ 今日ノ實  
情ノ下ニ於キマシテハ、生絲ダケニ凭レ掛  
カルト云フ體制ハ、最早舊體制デ時勢ニ副  
ハナクナシテ居ルノデアリマス、此ノ事實ヲ  
政府御當局ニ於キマシテモ直視セラレ、蠶  
絲價格ノ決メ方ヲ本然ノ軌道ニ御戻シニナ  
ラレルヤウ特ニ御配慮ヲ御願ヒシタイト思  
フノデアリマス、ソレカラ又繭絲價格安定  
資金モ、現在ノ表面ダケヲ見ルト、一見不  
必要ノ如ク御考ニナルカモ知レマセヌガ、  
先程來申述ベタヤウニ、此ノ資金ガアルノ  
デ蠶絲ノ需給ノ調整ガ出來ルノデアリ、現  
ニ本年ノヤウニ蠶絲製造機構ノ大改革等ノ  
關係カラ、一時繭、生絲ヲ統制會社ガ手持  
チシナケレバナラヌヤウナ必要ガ起シテモ、  
直チニソレニ應ジ得ルノデアリマスルカラ、  
ノ資金ガマダ一億圓足ラズ有ルト云フノデ  
ジテハ居ラナイコトヲ、十分ニ御考察願ヒ  
タイノデアリマス、蠶絲業者トシテモ、此  
定ノ上ニ大イナル作用ヲシテ居ルト思フノ  
デアリマス、是ハ心理上ノコトデアリマス  
ルカラ數字的ニ申上ゲルコトハ出來マセヌ  
ガ、決シテ馬鹿ニハナラナイ要素デアルノ

デアリマス、況ヤ茲ニ絲價安定施設法が廢止セラレ、其ノ特別會計モ廢止スルコトニ相成リマズト價格安定ノ資金ト云フモノハ全然皆無トハナツテ來テ、蠶絲業心理上ニ必ズヤ大キイ影響ガ、將來ヤツテ來ルコトヲ私ハ信ズル者デアリマスルカラ、國家ノ法律ニ依リ、特別會計法ガ無クナルトスレバ、ソレニ代ルベキ統制會社ノ繭絲價格安定資金ハ、之ヲ一層大切ニセラレ、寧ロ今後ハ其ノ増強ヲ圖ラレルヤウナ御方針ヲ御執リニナラレルヤウ切望シテ止マナインデアリマス、以上絲價安定施設法廢止及統制蠶絲業法中改正法律案ガ茲ニ上程サレマシタ機會ニ於テ、本案ニ私ハ贊意ヲ表スル者デアリマスルガ、何卒將來蠶絲業ノ國策上重要ナ要點ニ關シテ茲ニ私見ヲ申上げテ、且一言希望ヲ申述ヘタ次第デアリマス、特ニ私ハ山崎農商大臣ニ於カレマシテハ、其ノ御高邁ナル御識見ニ依リマシテ、篤ト御賢察ヲ御願ヒシタイト思フノデアリマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者も  
○委員長（伯爵畠田正恒君）  
論メマス、原案通り可決ス  
致シマシタ、是デ散會致シ  
午後三時十二分散會

スカ  
委員長(伯爵堀田正恒君) 他ニ御意見  
ゴザイマセヌカ……ナイヤウデゴザイマ  
ルカラ、討論終結致シタモノト認メマス  
休決致シマス、二案ヲ一括シテ議題ニ供  
マス、二案共原案通り御異存ゴザイマ

要點ニ關シテ茲ニ私見ヲ申上ゲテ、且一言  
希望ヲ申述ベタ次第アリマス、特ニ私ハ  
山崎農商大臣ニ於カレマシテハ、其ノ御高  
邁ナル御識見ニ依リマシテ、篤ト御賢察ヲ  
仰願ヒシタイト思フノデアリマス

アアリマス、況ヤ茲ニ絲價安定施設法ガ廢止セラレ、其ノ特別會計モ廢止スルコトニ相成リマスト價格安定ノ資金ト云フモノハ全然皆無トハナツテ來テ、蠶絲業心理上ニ必ヘヤ大キイ影響ガ、將來ヤツテ來ルコトヲ私ハ信ズル者デアリマスルカラ、國家ノ法律ニ依リ、特別會計法ガ無クナルトスレバ、ソレニ代ルベキ統制會社ノ繩絲價格安定資金ハ、之ヲ一層大切ニセラレ、寧口今後ハ其ノ増強ヲ圖ラレルヤウナ御方針ヲ御執リニナラレルヤウ切望シテ止マナインデアリマスルガ、何卒將來蠶絲業ノ國策上重要ナ

委員

公爵二條 強基君

侯爵池田 宣政君

子爵綾小路 謹君

子爵稻垣 長賢君

松村眞一郎君

石黒 忠篤君

男爵北島 貴孝君

男爵岩村 一木君

赤池 濃君

今井 五介君

吉村友之進君

片倉兼太郎君

二瓶泰次郎君

政府委員

農商次官 石黒 武重君